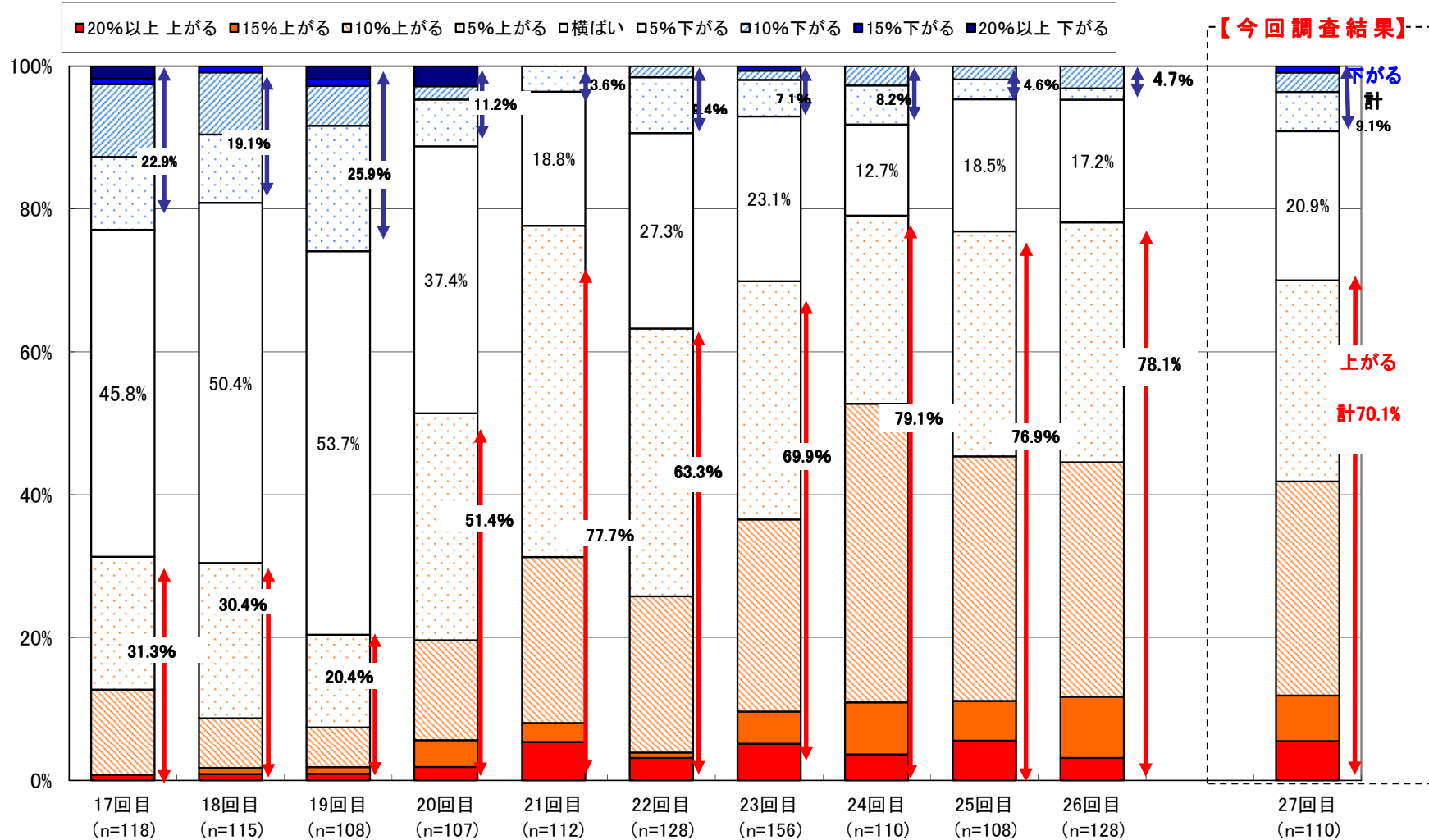


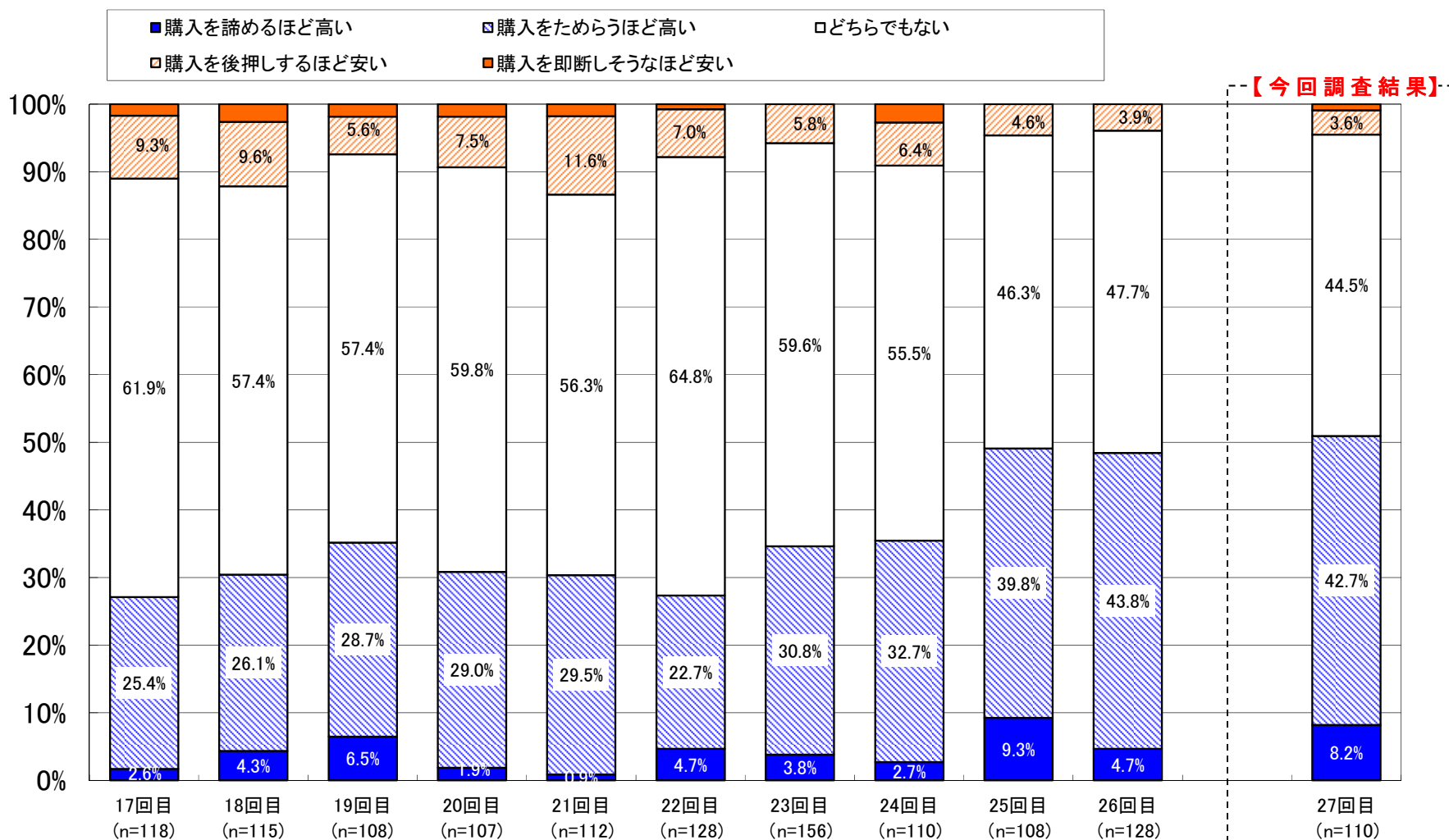
全体の約7割が1年後のマンション価格が上がると予想。依然高水準が続いている。価格上昇理由には、資材や人件費の高騰、消費税が10%に上がることを挙げている。

図1.「1年後の価格変化」



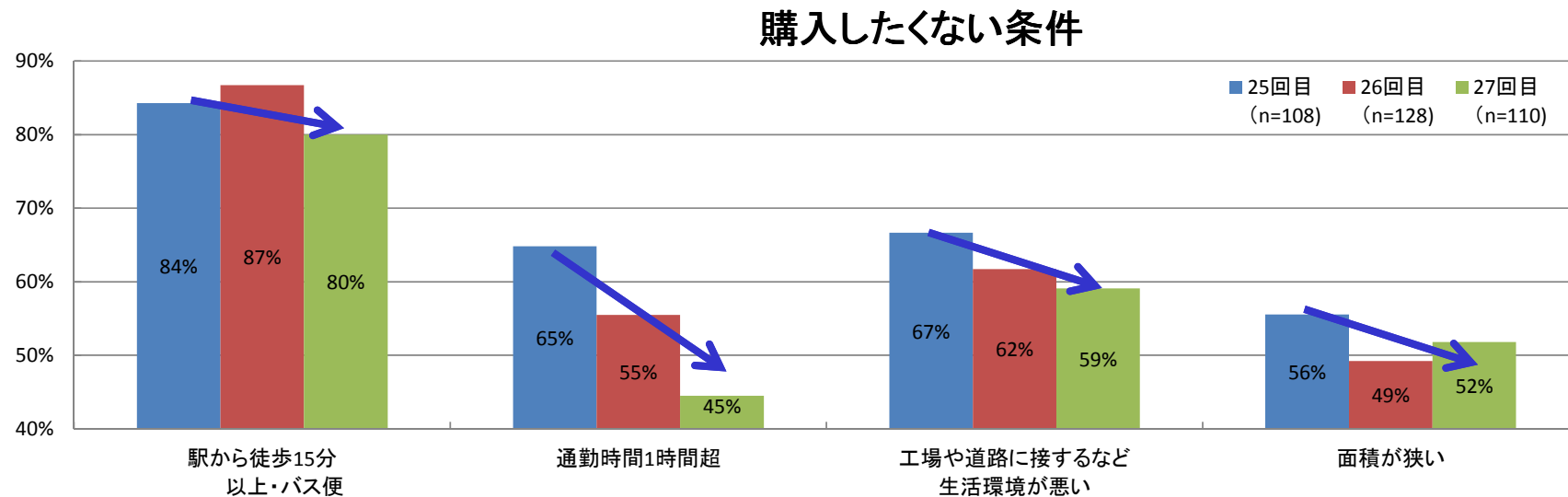
現在の物件価格に対し「高い」(購入を諦めるほど+ためらうほど)との回答は51%。  
2014年4月、7月、10月(今回)は、ほぼ横ばいで推移。

図2.「現在の物件の購入価格(分譲価格・金利・税制含む)についてどのように感じているか」



マンション価格の上昇に伴い、消費者は「絶対を買わない」条件を緩和している。2014年4月時点と比較し今回調査(2014年10月)は、条件に挙げた項目の回答率が低い傾向にある。特に「通勤時間1時間超」は20pt、「工場や道路に接するなど生活環境が悪い」は8pt減少しており、購入検討の幅を広げている。

図3.「絶対買わない条件」



「なるべく早く購入したほうがいい」との回答率は依然として高く(7割弱)。価格上昇が続いているので「高いと思っても更に高い物件が出てくる」について、7割が「そう思う」と回答している。

図4.「購入に対する心境」

N=110

